



感謝

校長 村上 裕江

3月になると、季節が春へと向かっていくことを日々感じます。まだまだ寒い日もありますが、保護者の皆様、地域の皆様には、ご健勝のこととお喜び申し上げます。また、思い返すと、ちょうど1年前に一斉臨時休業が始まり、先が見えない中で始まった令和2年度の1年間、本校の教育活動に様々なご支援とご協力、ご理解を賜りましたこと厚くお礼申し上げます。

今までも3月になると、10年前の東日本大震災の際に感じた、学校が普通に毎日ある、という当たり前に感じていたことが、いかに大切であるかを改めて感じ、その年度のことを思い返しながら感謝しておりました。

今年度は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のために、教育活動に多様な工夫と変更が求められました。その中で、一斉臨時休業から教育活動が再開し、「子どもたちが学校にいる」という喜びを忘れずに、教職員一同、毎日の教育活動を行ってまいりました。PTA本部役員、各委員の皆様にはご支援、ご協力をいただき力づけられました。保護者の皆様や地域の皆様には、例年と異なることが多く、ご心配をおかけすることも多かったと存じます。小田小学校の子どもたち一人一人の安全と健康と、そして成長を大切にするために、その時できる最大限のことを行ってまいりましたが、今回のように緊急事態宣言の期間延長に伴う急な変更もあり、なかなか予定通りにいかず申し訳ございませんでした。

しかし、子どもたちは、今、できること精一杯頑張っている姿をたくさん見せてくれています。特に、最上級生の6年生は、卒業を前に、学習発表会や体育的行事で、最上級生らしく学年全員が心を合わせて計画し実行していく姿や、一人一人が自分の目標に向かって邁進していく姿など、小田小学校で学んだ6年間の集大成が発揮されていました。「6年生になったら、～できるんだ。～したいな。」と考えていたことができなくなることが多かった中、できることを見つけ、工夫して臨む姿には、「予測困難な時代を生き抜く力」を感じました。

令和3年度は、まだまだ予測しきれないところも多々ありますが、小田小学校の全教職員、力を合わせて、教育活動に全力を尽くしてまいります。今後とも、何卒、温かいご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げますとともに、もう一度、この1年の感謝の気持ちをお伝えいたします。ありがとうございました。